

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【公開番号】特開 2018-201873 (P2018-201873A)

【公開日】平成 30 年 12 月 27 日 (2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-050

【出願番号】特願 2017-111140 (P2017-111140)

【国際特許分類】

A 6 3 B 53/04 (2015.01)

A 6 3 B 102/32 (2015.01)

【F I】

A 6 3 B 53/04 E

A 6 3 B 102:32

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 25 日 (2020.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

ゴルフクラブヘッド 1 は、ヘッド上部 2、ヘッド底部 3、フェース部 4、ホゼル部 5 及びバック部 6 を含む。ヘッド上部 2 はゴルフクラブヘッド 1 の上面を形成し、ヘッド底部 3 はソール部であり、ゴルフクラブヘッド 1 の底面を形成する。ヘッド上部 2 とヘッド底部 3 との間のヘッド正面部は、トゥ側部分 1 a、ヒール側部分 1 b、及び、トゥ側部分 1 a とヒール側部分 1 b との間のフェース部 4 を含む。フェース部 4 はゴルフボールの打撃面を形成する。フェース部 4 は本実施形態の場合、平面の打撃面を形成しており、D 1 方向に延びるスコアライン 4 1 が、D 2 方向に複数形成されている。フェース部 4 と、トゥ側部分 1 a 及びヒール側部分 1 b とは、例えば、本実施形態のようにスコアライン 4 1 が形成されている領域か、あるいは、表面処理が異なる領域か否かで区別することができる。表面処理としては、例えば、フェース部 4 にはブラスト処理等が施され、トゥ側部分 1 a 及びヒール側部分 1 b にはめっき処理、研磨仕上げ等が施される。バック部 6 はゴルフクラブヘッド 1 の背面を形成する。フェース部 4 及びバック部 6 はヘッド上部 2 とヘッド底部 3 との間に位置している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

打撃時にスリット 7 の隙間が変化することから、中間部材 8 がスリット 7 から脱落したり、中間部材 8 の位置が変わることを防止する必要がある。本実施形態では、固定部材 9 A 及び 9 B (以下、区別しない場合は単に固定部材 9 という。) により中間部材 8 A、8 B をそれぞれ固定している。本実施形態の場合、固定部材 9 A 及び 9 B は同様の構成であり、また、中間部材 8 A 及び 8 B は同様の構成である。図 3 (A) 及び図 3 (B) を参照して、中間部材 8 A 及び固定部材 9 A の組の構造について説明するが、中間部材 8 B 及び固定部材 9 B の組の構造も同様である。